

## ④道外と北海道を結ぶみなと

### 道外との物流の9割はみなとから

北海道から道外へ、道外から北海道への物流の**9割**以上はみなとが窓口となって運ばれています。

#### ●道外⇒北海道(移入)

自動車や衣類、電化製品など本州の工場で作られた生活に必要な品物の多くは船で北海道のみなとに運ばれてきます。

釧路港では高速船で毎日、牛乳を首都圏に輸送しています。



#### ●北海道⇒道外(移出)

水産品や生乳のほかにも紙類や石材、セメントなどが船で道外へ運ばれています。

### 物流にみなとが活躍するワケ

くらべてみよう  
船 vs トラック

#### ●一度に運べる荷物の量

大型トラック 約10トン

貨物船 約1,500トン

トラック  
150台分



※内航船で最も多い船型の総トン数499トンとした場合

#### ●移動に必要なエネルギーの量

(1トンの荷物を1km運んだ場合)

大型トラック 約2,257 KJ

貨物船 約527.5 KJ

トラックの  
約1/4



注) KJ(キロジュール)はエネルギーの消費量を表す単位です。1トンの貨物を1Km運ぶ時に輸送機関が消費するエネルギー量を表します。

※「平成19年度 交通関係エネルギー要覧」より

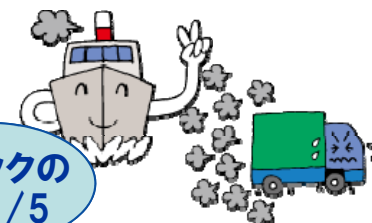
#### ●移動の時に出る二酸化炭素の量

(1トンの荷物を1km運んだ場合)

大型トラック 158 g-C

貨物船 39 g-C

トラックの  
約1/5



注) g-Cは二酸化炭素排出原単位です。1トンの貨物を1Km運ぶ時に輸送機関から排出される二酸化炭素の量を表します。

※「国土交通省資料」より

環境にやさしいモーダルシフトを推進しています。

#### ■モーダルシフトとは

トラックによる幹線貨物輸送を「地球にやさしく、大量輸送が可能な海運または鉄道に転換」すること。

#### ●モーダルシフトのメリット●

- ①排気ガスやCO2の排出量が少なく、環境にやさしい
- ②省エネ輸送で、エネルギー(燃料)を無駄にしない
- ③交通渋滞が減り、交通事故防止にもつながる